

# 近畿産業考古学会

The Kinki Industrial Archaeology Society

## 第 125 号

### 目次

1. 2022 年度総会行事開催のご案内・・・・・・・・・・ 1
2. 2022 年度総会議案の書面議決のお願い・・・・・・・・ 2
3. 次回見学会の実施について・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 「大仏鉄道遺構めぐり」に参加して  
二階堂達郎・・・・・・・・ 3
5. 【お知らせ】記念展「高島屋東別館・重要文化財指定  
記念展 大大阪の百貨店」が開催中です  
・・・・・・・・寺島俊之・・・・・・・・ 3
6. 学会誌の電子ジャーナル公開について・・・・・・・・ 3
7. 2021 年度第 6 回役員会議事録・・・・・・・・・・・・・ 4

### 2022 年度総会行事開催(オンライン)のご案内

・開催日時：4 月 16 日(土)，13：30～  
新型コロナウイルス感染の収束が見通せないため、  
総会行事をオンラインによる開催とします。

ホスト：垣本幹事，司会：岡田幹事，挨拶(冒頭)：  
二階堂会長

・特別講演：13：30～

「大阪湾岸臨海工業地帯・景観調査の記録映像から」  
貝柄 徹氏・二階堂達郎氏  
(いずれも大手前大学史学研究所構成員，本会幹事)

発表者は、多くの会員の協力を得て、2016～18 年  
度にかけて、大阪湾岸臨海工業地帯（大阪，神戸，  
阪神間，堺・泉北，姫路・東播磨，阪南）の景観調  
査を実施した。この調査で得られた海上・河川から  
の撮影による記録映像のダイジェストを放映し、そ  
れに陸上調査や本会見学会の結果を交えて、臨海工  
業地帯の景観について報告する。

・研究発表講演会（発表者募集中）

※最後に 2022 年度総会議案書に関する説明やご質問  
やご要望の時間を設けます。

Web 会議ソフト「Zoom」を使用します。パソコン，  
タブレット，スマートフォンのいずれでも参加いた  
だけます。

参加希望者は4月13日(水)までにメールで事務局に  
お申込ください。オンライン会議の詳細な参加方法  
はお申込時にご案内します。

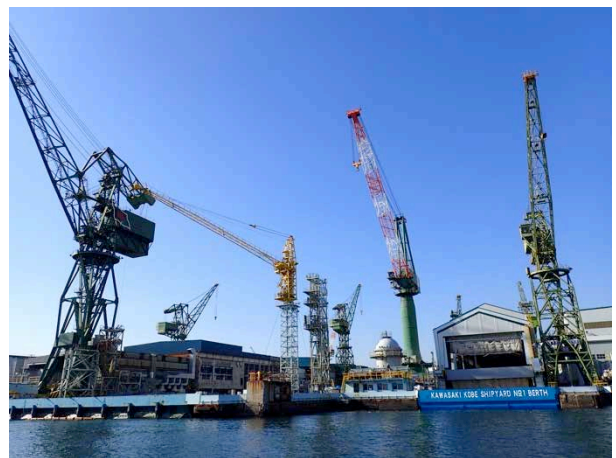


写真1 川崎重工業神戸工場（撮影：2017/12/04）



写真2 神戸製鋼所神戸製鉄所（撮影：2016/09/11）



写真3 三井化学大阪工場（撮影：2017/09/23）



写真4 関西電力堺港発電所（撮影：2017/09/23）



図1 調査地域

### 2022年度総会議案の書面議決のお願い

2022年度総会は、新型コロナウイルス感染拡大の収束がまだ見通せないため、昨年度に引き続き、特例措置として、総会議案のメールや書面によって議決することになります。

同封または添付の「議案書案」をご覧の上、以下の方法で「賛成・否認」を明記して、ご回答下さい。

#### 【メール配信で本紙を受けとっておられる会員】

配信メールの記入欄に「賛成・否認」のいずれかを選択した上で、メールをご返信ください。

#### 【郵送で本紙を受けとっておられる会員】

同封はがきの記入欄に「賛成・否認」のいずれかに○を付けて、ご投函ください。

締め切り：4月23日(土)

なお、前回同様、議決については会則の第13条を準用し、会員総数の4分の1以上の回答（会則では出席+委任状）をもって成立と見なし、過半数の賛成をもって決すこととします。

### 次回見学会の実施について（予告）

「まん延防止等重点措置」は解除されましたが、新型コロナウイルスの感染者数は高止まり傾向が続いています。また、企業では府県より厳しい社内立入規制を講じています。このため、延期した「はがね歴史記念館」の訪問を含む見学会「住友金属発祥の足跡を辿る」の実施は、現時点で見通せない状況です。このため、今回は街歩きを主体とする見学会も並行して準備します。

#### ①「はがね歴史記念館」の見学が可能となった場合：

見学会「住友金属発祥の足跡を辿る」を5月下旬～6月上旬の平日に開催する。

見学先（予定）：

「伝法」駅周辺：日本鑄鋼所跡、鴻池組旧本店（外観）、鴉宮神社、湊標住吉神社、駅舎など。「安治川口」駅周辺：はがね歴史記念館、此花区の工場景観、鉄道軌道跡、ガソリンカー転覆事故慰霊碑など。

#### ②「はがね歴史記念館」の見学ができない場合：

見学会「文学作品に記録された神戸の鉄道と都市景観」を5月下旬～6月上旬の土曜日に開催する。

見学先（予定）：

諏訪山動物園跡（現・諏訪山公園）、海外移住と文化の交流センター（旧神戸移住センター）、神戸ムスリムモスク、北野異人館街、三ノ宮駅、トアロードなど  
次回見学会の詳細は次号でご案内します。

### 「大仏鉄道遺構めぐり」に参加して

二階堂達郎

3月21日(祝日、月)、大仏鉄道研究会が発足20周年を記念して開催された「早春の大仏鉄道遺構めぐり」に、本会関係者数名とともに参加しました。好天にも恵まれ、寒くもなく暑くもない、ウォーキングには最適な日よりでした。



写真1 赤橋（撮影：2022/03/21）



写真 2 梶ヶ谷隧道（手前側，中央付近に左側へ分岐して隧道に入る舗装道が見える）と赤橋（舗装道の向こう側先端部付近）の周辺（撮影：2022/03/21）  
 ※ 両遺構とも撤去されて道路が建設される計画であったが，道路は両遺構を避ける形で右側に大きく湾曲して建設された。



写真 3 12年前の梶ヶ谷隧道（撮影：2010/05/22）  
 ※ 当時，周囲には田園風景が広がっていた。

ニューズレター前号でも紹介されたように，本会は2010（平成22）年5月22日に同研究会の協力を得て，大仏鉄道遺跡の見学会を実施しています。

JR加茂駅に9：40集合一般の参加者は約45名，研究会会員の方々を含めると約55名と盛況でした。挨拶や準備体操の後，5班に分かれて出発しました。加茂駅周辺の同駅跨線橋支柱，SL（C5756）の展示を見た後，観音寺橋台，観音寺小橋台，鹿背山橋台，梶ヶ谷隧道，赤橋，松谷川隧道，黒髪山トンネル跡を経て，大仏鉄道記念公園までの約12kmの行程でした。一般向けの距離とのことでしたが，コロナ禍で歩くことが少ない生活が続いたためか，かなりハードに感じました。

木津川市域の鹿背山地区は，12年前にはのどかな田園でしたが，UR都市機構（独立行政法人土地再生機構）による住宅開発が進み，景観が様変わりしていました。にもかかわらず，シンボリックな遺構である赤橋や梶ヶ谷隧道が残されていたのは，奇跡的であるように思えました。研究会の地域に根ざした活動や地元の熱心な

要望が，このような歴史的遺産が保存・活用されるための原動力となったことを改めて認識させられました。



写真 4 松谷川隧道（撮影：2022/03/21）  
 ※ 各遺構とも整備され，立派な案内板が設置されている。



写真 5 12年前の松谷川隧道  
 （撮影：2010/03/30，岡田広一）

### 【お知らせ】

記念展「高島屋東別館・重要文化財指定記念展 大大阪の百貨店」が開催中です

寺島俊之

高島屋東別館（大阪市浪速区）は松坂屋大阪店として1928（昭和3）年から1940（昭和15）年に建築されたことで知られる。一方，高島屋は1922（大正11）年に大阪・堺筋の長堀橋詰に近代ゴシック建築の大型店舗，高島屋長堀店を開店した。

本展は会期を第1部・第2部に分けて以下のとおり開催中である。

- ・第1部：百貨店建築の登場 3月5日（土）～5月9日（月）
- ・第2部：大大阪モダニズム 5月21日（土）～7月4日（月）
- ・会場：高島屋史料館（大阪市浪速区，高島屋東別館）
- ・開館時間：午前10時～午後5時（入館は閉館30分前まで）

- ・休館日：火・水曜日
- ※5月12日(木)～5月20日(金)は展示替えのため休館。
- ・入館料：無料
- ・学芸員によるギャラリートーク：毎週土曜日、14：00～(約30分)
- ※申し込み不要、開始時間までに企画展示室に集合。
- ※状況によりイベント中止の場合もあり。

・参考URL  
<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>  
 今回の記念展は、旧松坂屋大阪店の建築よりも、高島屋長堀店と南海店の資料展示に比重が置かれており、資料や写真など約90点の展示から文化・芸術・産業の中心であった大大阪の変貌を百貨店から読み解いている。学芸員とのギャラリートークで新たな発見もあるかもしれない。

- なお、本会では以下の発表実績がある、
- ・「数奇な運命をたどった百貨店 -高島屋東別館(松坂屋大阪店)の歴史を映像で振り返る-」若林あかね氏(2021年度総会発表)『ニューズレター』第119号(発行：2021年5月5日)
  - ・「高島屋東別館(旧松坂屋)と幻のアーケード」垣本徹氏、『近畿の産業遺産』No.4(2010年刊)pp.24～27

### 学会誌の電子ジャーナル公開について

これまでに本会学会誌第4号まで公開を完了しましたが、引き続き、後続号掲載論文の公開を進めます。

### アクセス統計(2022年2月分)

科学技術振興機構(JST)より提供された2022年2月分の「J-STAGEアクセス統計データ」の概要です。  
 掲載論文数(これまでに掲載済みの分)：16  
 書誌事項へのアクセス数：合計 97回  
 全文PDFへのアクセス数：合計 69回  
 (アクセス数が最も多かった論文：書誌事項；12回、全文PDF；7回)

※「クローラー」(検索エンジンなどによるWebサイトの情報を取得するための自動巡回プログラム)によるアクセスを除外しています。

### 【訂正】

前号に掲載した2022年1月分の「書誌事項へのアクセス数」に誤って「クローラー」を含めていましたので、以下のように訂正します。

書誌事項へのアクセス数：合計 167回(←171回)

### 2021年度第6回役員会議事録

日時：2022年3月2日(水) 19：30～20：30

### オンライン開催

参加者：二階堂会長、中山副会長、岡田幹事、貝柄幹事、垣本幹事、寺島幹事、溝口幹事

### 議事：

1. 前回役員会議事録の承認
2. 見学会について  
 「はがね歴史記念館」閉館のため見学会「住友金属発祥の足跡を辿る」(開催予定日：3月18日)を延期。
3. 2022年度総会開催・議案議決の方法について  
 開催内容・議決方法を再確認。若林会員に次回役員会へのオブザーバー参加を依頼。
4. 学会誌第16号の原稿募集  
 掲載予定原稿：安田会員、中山会員、岡田会員、貝柄会員。
5. 学会誌の電子ジャーナル公開について  
 2月以降に作業再開を予定。
6. ニュースレター124号  
 3月初めに発行予定。
7. 調査・研究について
  - ・関西電力堺港発電所旧発電施設：調査報告のとりまとめ(年度内の完成をめざす)。
  - ・津守下水処理場の調査：大阪市建設局下水道部から資料提供あり。来年度から調査開始。
8. その他  
 会員訃報：池田真澄氏。中元会員の『絵葉書で訪ねる橋』シリーズ続刊、大仏鉄道研究会発足20周年記念「大仏鉄道遺構めぐり」開催の紹介。産業遺産学会より同会発行メール配信案内に本会行事の掲載依頼あり、承認された。  
 次回役員会：2022年3月30日(水)

### 【訂正】

ニューズレター123、124号に掲載した第4、5回役員会議事録の中で、参加者名から中山副会長のお名前が漏れて降りました。訂正させていただくとともに、中山副会長にお詫び申し上げます。

2022年4月5日発行

編集 近畿産業考古学会 編集委員会

発行 近畿産業考古学会 会長 二階堂達郎

URL：<http://kinias.jp>

事務局 564-8511 大阪府吹田市岸部南2丁目36番1号

大阪学院大学 経済学部 中山嘉彦研究室気付

Tel：06-6381-8434(代)、Fax：06-6382-4363(代)

E-mail：kinias-ec@nifty.com

会費納入先(郵便振替)

口座番号：00950-9-150085、加入者名：近畿産業考古学会